

a01000006a

=患者情報!B1

<<入院診療計画書・退院療養計画書>>

乳房再建手術（エキスパンダー）を受ける患者さまへ

=患者情報!B2

患者氏名	○	様	病名：	乳癌術後後遺症	症状：	主治医：	○	印	受け持ち看護師：
項目	月日	1月0日	1月2日	1月3日			1月4日	1月5日	
		入院日	入院翌日～	手術前（当日）		手術後（当日）	術後1日目		術後2日目
達成目標	手術について理解できる					適宜、痛み止めを使用し、創の痛みが軽減できる		創の痛みが軽減できるまたは消失する	
治療・薬剤（内服）	- 持参されたお薬とお薬手帳は、薬剤師が確認をするため、一時的にお預かりします - 薬物療法について文書を用いて担当薬剤師が説明します - 採血があります - 手術部位のマーキングのため午後外来に呼ばれます	中止と言われた薬以外はいつも通り内服してください	- 朝のお薬は、（ ）時まで（ ）を飲んでください - 食事がなくても肺炎予防のため歯磨きを行なってください 9時の手術でない方は、点滴を行います	- 点滴があります - 酸素の投与を行ないます - 心電図モニターをつけます - 静脈血栓症予防のための器械を使用します - 手術室より創の近くから管が入ってきます	朝、採血を行ないます - 点滴があります - 毎朝、医師が創の診察を行ないます - 看護師が体を拭きます	- 毎朝、医師が創の診察を行ないます - 点滴があります			
活動・安静度	- 制限はありません - 手術後の感染予防のため、手術前日は必ずシャワーに入ってください - マーキングが消えないように注意してください（テープが剥がれていたら看護師に伝えてください）		制限はありません	- ベッド上安静です - 酸素終了後より歩行可能です - 初回歩行は看護師が付き添います - 歩行が問題なければ管が抜けないよう注意して歩行してください - 歩行時、管が抜けないよう気をつけて歩行してください	- 制限はありません - 歩行時、管が抜けないよう気をつけて歩行してください				
食事	- 特別な栄養管理の必要性 有・無 - 栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します	- 夕食以降は禁食となります - お水、お茶、経口補水液は飲んでかまいません	- 食事はできません - お水、お茶、経口補水液は（ ）時まで飲めます	- 食事はできません - 酸素終了後より飲水ができます	朝から食事ができます	制限はありません			
排泄	制限は特にありません			手術室より尿の管が入ってきます	尿の管を抜きます	制限はありません			
患者様およびご家族への説明	- 入院、手術について説明します - 患者様識別のためにIDバンドを装着します - 爪の長い方は切り、マニキュア、ジェルネイル、スカルプネイルは落としてください - 持参されたお薬は、手術当日朝までに内服する以外はお預かりします - 用意していただく物：ブレストバンド、浴衣		- 指輪、時計、ネックレス、ピアス、コンタクトレンズ、入れ歯など金属類は外してください（眼鏡の方は着用したまま手術室にいきます） - 静脈血栓症予防のために、弾性ストッキングを着用します - 付き添いの方と一緒に手術室に行きます（貴重品の鍵はお付き添いの方に預けてください）	- 術後は看護師が適宜伺いますので何かありましたら遠慮なく申し出てください - 手術した腕は肩より上に挙げないでください - 手術後は手術した側を下にして寝ないようにしてください	- 手術した腕は動かさないでください - 痛みやつらさがある場合は、我慢せずに看護師に申し出てください - バンドがずれないよう適宜調整をしてください - 手術した側を下にして寝ないようにしてください				

注1 場合によっては内容を変更することがあります。

患者氏名		=患者情報!B2		様		
項目	月日	1月6日	1月7日	1月8日 ～	1月14日	
		術後3日目	術後4日目	術後5日目～	退院日	
達成目標		創の痛みが軽減でき、歩行できる 挙上制限を守ることができる		挙上制限を守ることができる リハビリの内容を理解する		日常生活の注意点について理解できる
治療・薬剤 （内服）		・毎朝、医師が創の診察を行ないます ・点滴があります				【退院後の生活について】 ○創について ・医師の許可があるまではシャワーのみです ・感染予防のため、1日1回シャワーの時に泡立てた石けんで創を優しく洗って清潔にしてください ・創を圧迫を避けるため、うつぶせや手術した側を下にした横向きで寝ないようにしてください ○プレストバンドの装着は継続してください ○下着は柔らかい素材のフルカップのものを使用してください ○食事制限はありません ○激しい運動や圧迫が加わる動作は避け、適度な運動をしましょう ○職場復帰について 以下を目安とし、医師とも相談してください ・デスクワークは退院後から様子を見ながら可能です ・販売や営業など立ち作業の多い仕事は術後1ヶ月から仕事復帰を検討しましょう ・介護職など身体負担の多い仕事は術後2ヶ月頃から徐々に仕事復帰し、術後3ヶ月から術前同様の復帰を目安としましょう ○術後1ヶ月程度は重いものを持たないでください ○金属の部品を使用しているため、MRI検査はできません 医療機関を受診した際には、エキスパンダーカードを提示してください ○今後は定期的に外来で経過を見ながら、生理食塩水を注入し徐々に皮膚を伸ばしていきます ○以下のような症状がある場合は、病院への電話連絡し受診の相談をしてください ・胸の皮膚に赤み、腫れ、熱感がある ・皮膚が突っ張った感じや強い痛みがある ・38度以上の発熱がある
活動・安静度		・医師の許可があれば洗髪をお手伝いします ・歩行時、管が抜けないう気をつけてください ・管が抜け、管の孔がふさがっていればシャワーには入れます				
食事		・制限はありません				
排泄		・制限はありません				
患者様およびご家族への説明		・ドレーンが抜去されたら、上肢のリハビリを行なってください（看護師から段階的にリハビリの内容を説明します） ・痛みやつらさがある場合は、看護師にご相談ください ・バンドがずれないよう適宜調整をしてください（調整方法は看護師が説明します） ・手術後は手術した側を下にして寝ないようにしてください				